

産業廃棄物処理計画書

2025年6月30日

広島県知事 様

提出者

住所 広島市南区出汐二丁目3番24号

氏名 中電工業株式会社 代表取締役 石井 浩一

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 082-505-1520

広島県生活環境の保全等に関する条例第85条第1項の規定により、2025年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中電工業株式会社
事業場の所在地	広島市南区出汐二丁目3番24号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 条例別紙1、2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 条例別紙1、2のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 条例別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項 条例別紙1、2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

条例別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

条例別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 条例別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

条例別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組)	

②計画	【目標】 条例別紙1、2のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

条例別紙1(条例-産業廃棄物処理計画書)
 現状：前年度(2024年度)実績量
 計画：今年度(2025年度)計画量

単位:トン/年

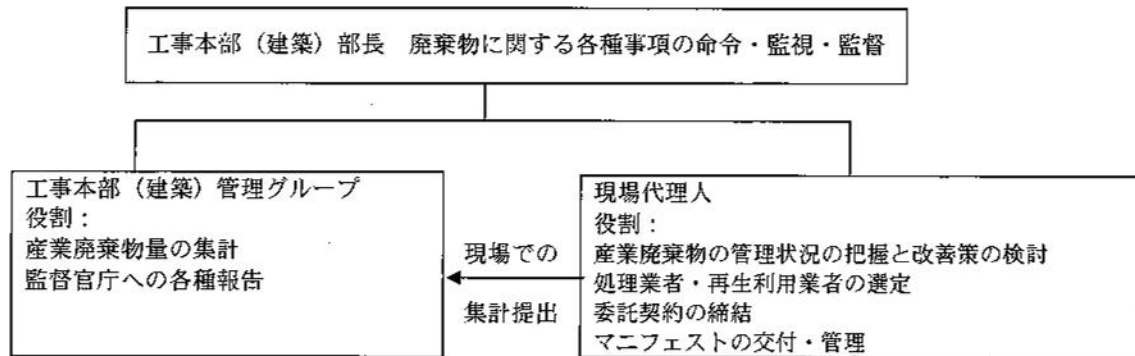
産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
燃え殻																					
汚泥	6.193											6.193			6.193						
廃油	1											1			1						
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類	17.079	11.008										17.079	11.008		8.54	5.5					
紙くず	1.935	2.21										1.935	2.21		1.935	2.21					
木くず	2.96	1.805										2.96	1.805		2.96	1.805					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	17.524	11.077										17.524	11.077		17.524	11.077					
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2	0.303										2	0.303		1.9	2.878					
鉱さい																					
がれき類	48.052	13.494										48.052	13.494		45.649	12.819					
ALC(軽量気泡コンクリート)	4											4			0						
安定型建設混合廃棄物	0.532											0.532			0.532						
ばいじん																					
アスファルト・コンクリート破片	62.72	15										62.72	15		62.72	15					
コンクリート破片	422.82	9.592										422.82	9.592		422.82	9.592					
石膏ボード	2	7.8										2	7.8		2	7.8					
建設混合廃棄物	0.055											0.055			0						
合計	588.87	72.289	0	0	0	0	0	0	0	0	0	588.87	72.289	0	0	573.773	68.681	0	0	0	0

条例別紙2（条例-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	(06) 総合工事業
②事業の規模	資本金 7,700万円 令和6年度建設業売上 8,180,083千円
③従業員数	150名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙フロー図参照

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図）



3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	(これまでに実施した取組)
①現状	積算精度を向上させ、新築工事及び改修工事等の材料発注におけるロスを低減する。 梱包材の削減に務める。
	(今後実施する予定の取組)
②計画	同上

4 産業廃棄物の分別に関する事項

	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
①現状	産業廃棄物の種類ごとに分別用のコンテナを設置し廃棄物の分別を行った。
	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	今後も産業廃棄物の種類ごとに分別用のコンテナを設置し、掲示物等にて作業員に周知・分別意識の向上を図る。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当無し

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当無し

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 該当無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 該当無し

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 再生利用が可能である廃棄物は、再生利用会社へ委託する。
②計画	(今後実施する予定の取組) 同上